

笛吹市 議会だより

平成27年1月22日発行

2015 Vol.41

笛吹市 小学生・中学生俳句会



文部科学大臣奨励賞の受賞句(2句)

「夏休み イルカきらきら とんでいる」

一宮西小学校2年 古屋慶樹君

「万緑の 中や始まる 演奏会」

岡山県清心中学校3年 木村巴香さん

正・副議長就任あいさつ ③
常任委員会構成 ④

倉嶋市長の行政報告 ⑤
代表質問・一般質問 ⑧
委員会レポート ⑭



FUEFUKI CITY



笛吹市

議会だより Vol.41

表紙 1

あんない・議会日誌・会期日程 2

正・副議長あいさつ 3

常任委員会構成 4

倉嶋市長・行政報告 5

12月定例議会・臨時議会で決まったこと 6~7

一般質問(10人) 8~13

 渡辺 清美議員 亀山 和子議員 渡辺 正秀議員
 神澤 敏美議員 川村 恵子議員 志村 直毅議員
 古屋 始芳議員 野澤今朝幸議員 神宮司正人議員
 中川 秀哉議員

委員会レポート 14~15

市民リレートーク / 編集コラム笛吹川 16

あんない CONTENTS



議会日誌 GIKAI diary

9月 September

- 1日 第48回県消防団員操法大会激励式
- 2日 NHK短歌大会
- 3日 峡東地域広域水道企業団議会全員協議会
- 4日 第3回定例会本会議・議会広報編集委員会
- 5日 会派代表者会議・工事入札調査特別委員会準備会
- 8日 第3回定例会本会議(代表質問)
- 9日 第3回定例会本会議(一般質問)
- 11日 会派代表者会議
- 12日 各常任委員会
- 16日 各常任委員会・会派代表者会議
- 18日~22日 各常任委員会
- 26日 峡東地域広域水道企業団全員協議会・本会議
森林公園金川の森清掃活動
- 29日 議会運営委員会・全員協議会
第3回定例会本会議(最終日)
- 30日 工事入札調査特別委員会準備会
笛吹市戦没者合同慰霊祭

10月 October

- 12日 市制施行10周年記念式典・歓迎レセプション
- 13日 ドイツ・パート・メルゲントハイム市お別れパーティー
- 15日 長野県高森町議会行政視察受入
- 16日 東山梨環境衛生組合議会・全員協議会・本会議
- 19日 市町村議会議員懇談会
山梨県身体障害者連合福祉会
- 20日 東山梨行政事務組合議会定例会
- 21日 議会改革検討委員会小委員会・市町村総合事務組合議会定例会
- 23日 市議会議長会定期総会・青楓美術館開館40周年記念セミナー
- 27日 (仮称)笛吹八代スマートIC地区協議会

- 28日 議会改革検討委員会・定例全員協議会
山梨県後期高齢者医療広域連合議会
- 31日 甲府・峡東地域ごみ処理施設組合議会

11月 November

- 7日 会派代表者会議
- 9日 第9回笛吹市一周駅伝開会式
- 13日 工事入札調査特別委員会準備会
- 14日 笛吹市戦没者遺族大会
- 17日 釈迦堂遺跡博物館組合議会
- 18日 議会運営委員会・全員協議会、第2回臨時会
- 20日 東山梨行政事務組合打ち合わせ
笛吹地区暴力追放委員会定期総会
- 25日 議長・副議長山梨市・甲州市へ就任あいさつ
- 27日 東山梨行政事務組合議会
- 28日 第4回定例会議会運営委員会・全員協議会

12月議会・会期日程報告

- 12月19日(金) ・ 議会運営委員会
・ 全員協議会
- 12月20日(金) ・ 本会議
・ 各委員会の審査報告
・ 質疑・討論・採決
開会
- 12月21日(金) ・ 審査
- 12月22日(金) ・ 付託案件・事件
- 12月23日(金) ・ 各常任委員会
- 12月24日(土) ・ 一般質問
- 12月25日(日) ・ 総括質疑・付託
- 12月26日(月) ・ 提出議案の説明
- 12月27日(火) ・ 市長施政方針
- 12月28日(水) ・ 会期の決定
- 12月29日(木) ・ 本会議
・ 会議録署名議員の指名
- 12月30日(金) ・ 開会
- 12月31日(金) ・ 全員協議会
- 1月1日(土) ・ 議会運営委員会

議長 就任のあいさつ

副議長

市民意見を踏まえた施策形成へ



笛吹市議会 議長
大久保俊雄

この度の改選により、市議会議長に選出をいただき、使命の重さを痛感するとともに、全身全霊を傾注し、一人でも多くの市民が豊かさを実感できる本市の発展、市議会の発展のため、一層努力致します。

笛吹市も誕生して早や10年、節目の年を迎えました。地方経済が依然低迷し、国の制度設計も矢継ぎ早やに変化していく中で、改めるべきもの、継続・発展すべきもの、山積した課題を一つひとつ議会・行政・市民の三者が一体となり、確実に解決していく必要があると考えます。

本市も「桃・ぶどう日本一」と温泉の郷をはじめ、歴史・文化そして人情と他地域にはないオンリー・ワンの素晴らしい財産がいくつもあります。これらの宝物の点を線に、線を面につ

なげていき、本市の魅力を多くの方々に実感していただくことが重要であります。さらに「地方創生」、「地域主権」が進む中、今後は各自治体の「本気度」が不可欠であり、それは国等の交付金も従来のような一律ではなく、地域特性をしっかりと打ち出し、施策展開する自治体に手厚く交付される予見されるからであります。住民の視点から執行機関と議事機関である議会とで切磋琢磨し、住民とともに地域経営を担うことが必要と考えます。

そして、実効性のある議会改革は「待ったなし」であります。今年には議会改革基本条例を制定し、「市民参加を踏まえた市民生活の向上のための施策形成」を市民が納得する議会の推進を大きなテーマとして取り組み、市民の多くの声を整理しながら、二元代表制の立法機関としての議会の使命を果たすべく、議員一同一丸となつて努力いたす所存であります。

今後とも議員・議会に對しまして、ご支援ご協力を心よりお願い申し上げます。議長就任に際してのごあいさつとさせていただきます。

「開かれた議会」を目指して



笛吹市議会 副議長
北嶋 恒男

去る11月18日、臨時議会に就任する大久保俊雄市長と共につくわせた開かれた議会づくりに努めます。開かれた議会づくりに努めます。開かれた議会づくりに努めます。

開かれた議会を、市民が安心して利用できる議会とする。市民が安心して利用できる議会とする。市民が安心して利用できる議会とする。

議員一同認識して、市民の意見を踏まえた施策形成を目指して、市民が安心して利用できる議会とする。

市民が安心して利用できる議会とする。市民が安心して利用できる議会とする。市民が安心して利用できる議会とする。

お詫びと訂正 前号(40号)3ページと22ページに誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

3ページの議長あいさつ文の飯田龍太先生の句 22ページ 3段目

誤 青竹が 熟柿の どれにも届く
正 青竹が 熟柿の どれにでも届く

誤 A コンビニ交付は手数料1件当たり120円かかる。
正 A コンビニ交付は交付センターへの手数料1件当たり120円かかる。

各委員会・組合議会の 構成が決まりました

[平成26年11月18日～]

議長・副議長辞職に伴い改選
常任委員会委員の任期満了に伴い改選

委員長 副委員長

議長 大久保俊雄

副議長 北嶋 恒男

総務常任委員会（7人）

野澤今朝幸 荻野 謙一
岩沢 正敏 中川 秀哉 渡辺 正秀
小林 始 大久保俊雄

教育厚生常任委員会（7人）

中村 正彦 神澤 敏美
神宮司正人 梶原 清 志村 直毅
渡辺 清美 前島 敏彦

建設経済常任委員会（7人）

海野利比古 保坂 利定
古屋 始芳 北嶋 恒男 川村 恵子
亀山 和子 上野 稔

議会運営委員会（8人）

亀山 和子 志村 直毅
野澤今朝幸 中村 正彦 海野利比古
神宮司正人 梶原 清 中川 秀哉

議会広報編集委員会（6人）

荻野 謙一 古屋 始芳
岩沢 正敏 志村 直毅 渡辺 清美
北嶋 恒男

リニア対策特別委員会（9人）

岩沢 正敏 神宮司正人
渡辺 正秀 小林 始 梶原 清
中村 正彦 保坂 利定 海野利比古
川村 恵子

東八代広域行政事務組合議会議員（7人）

大久保俊雄 北嶋 恒男 野澤今朝幸
中村 正彦 海野利比古 中川 秀哉
渡辺 正秀

東山梨行政事務組合議会議員（2人）

大久保俊雄 野澤今朝幸

峡東地域広域水道企業団議会議員（5人）

大久保俊雄 北嶋 恒男 海野利比古
古屋 始芳 保坂 利定

東山梨環境衛生組合議会議員（2人）

北嶋 恒男 神澤 敏美

甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合議会議員（4人）

大久保俊雄 北嶋 恒男 中村 正彦
前島 敏彦

釈迦堂遺跡博物館組合議会議員（6人）

大久保俊雄 北嶋 恒男 中村 正彦
神澤 敏美 梶原 清 前島 敏彦

山梨県後期高齢者医療広域連合議会議員（1人）

神澤 敏美



倉嶋市長の行政報告

おもな事業の報告

1 御岳山噴火 緊急消防援助隊派遣

9月27日に発生した御岳山噴火で、緊急消防援助隊派遣要請があり、市消防本部から延べ111名の職員が19日間にわたり出勤、救助活動を行いました。

2 リニアの見える丘 整備事業

八代ふるさと公園駐車場に来年度本格的な展望台を設置する計画で準備を進めており、花鳥一本杉周辺の公園整備は、事業認可取得に向け、県と協議を進めています。

3 全国桃サミット

全国の主要桃産地が集う全国桃サミットin「笛吹」の開催を正式決定しました。期日は来年4月17、18日の予定で、石和温泉郷を会場に開催します。

4 秋の観光イベント

山梨ヌーボー解禁に合わせ、カウントダウンイベントを開

催。県内外から約1,000人が参加し、大好評を博しました。このほか「ワインツリーズムやまなし2014」や大蔵経寺山、兜山を走る第1回トレイルラン&ウォーク大会も開催されました。

5 石和温泉駅 周辺整備事業

駅舎と北口駅前広場工事も同時進行しており、今年度末に駅舎・南北自由通路が完成。来年度末には駅周辺整備事業がすべて完成する予定です。

6 国際交流

市制施行10周年記念式典の日程に合わせ、国際友好都市ドイツ、バート・メルгентハイム市から、市長を団長とする交流使節団18人が来訪、市民まつりなどにおいて、市民レベルの交流も行うことができました。

7 予防接種

ロタウイルス・おたふくかぜ・水痘の各ワクチン接種費用を一部補助していましたが、

10月の予防接種法改正で、水痘ワクチンと高齢者肺炎球菌ワクチンが定期接種化されましたので、市民への周知に取り組んでいます。

8 ごみ処理施設・ 関連施設整備状況

ごみ焼却施設やリサイクルセンターは、平成29年4月稼働に向けた本体施設建設工事が始まっており、併せて整備を進めている温泉掘削については、業者発注の準備が進められています。

9 御坂浄・配水場 建設工事

御坂浄・配水場の完成で、御坂地区の水不足の解消が進む。石和や一宮地区の一部供給も視野に、施設の有効活用を図る計画で、安全・安心な水道水を供給する基幹施設となります。

10 生活習慣病の予防

国の委託を受け「生活習慣病重症化予防のための戦略研究」の研究参加地域に選定されました。受診を強く指導する自治体として、研究に貢献することになります。

11 スポーツ分野での 中学生の活躍

県駅伝競走大会で石和中学校駅伝チームが昨年に続き優勝し2連覇。同校は8月の全国中学校体育大会、4x100mリレーでも2位入賞の快挙を成し遂げました。関東大会や全国大会に出場する駅伝チームの活躍に期待します。



八代ふるさと公園に設置された仮設展望台

12月定例議会における倉嶋市長の行政報告を要約したものです。

第2回臨時会

教育委員会委員の任命

坂本誠二郎氏の

再任に同意

坂本誠二郎(67)

石和町中川

(平成26年11月30日から4年間)

第4回定例議会

公平委員会委員の選任

古屋勝仁氏の

選任に同意

古屋勝仁(65)

一宮町狐新居

(平成26年12月21日から4年間)

年齢は議決日となります。

名所山恩賜県有財産保護
財産区管理委員会委員の選任

7氏の選任に同意

中村 幸男(66)

境川町大窪

雨宮富美雄(65)

境川町藤袋

宮川 保夫(65)

境川町藤袋

宮川 盛広(64)

境川町藤袋

江川 春彦(62)

境川町藤袋

岩沢 正敏(62)

境川町藤袋

相川 孝(61)

境川町藤袋

平成26年第2回臨時会提出案件一覧表

(前島敏彦議長を除く)
賛成 反対

| 種別 | 案件名 | 笛新会 | | | | | 笛政クラブ | | | | 誠和会 | | | 公明党 | | 日本共産党 | | 結果 | | | | | |
|----|-------------|------|-------|-------|------|------|-------|------|-------|-----|------|-------|------|-----|------|-------|-----|----|------|------|------|------|------|
| | | 北嶋恒男 | 野澤今朝幸 | 海野利比古 | 保坂利定 | 岩沢正敏 | 神澤敏美 | 荻野謙一 | 神宮司正人 | 上野稔 | 前島敏彦 | 大久保俊雄 | 志村直毅 | 小林始 | 中村正彦 | 古屋始芳 | 梶原清 | | 中川秀哉 | 渡辺清美 | 川村恵子 | 渡辺正秀 | 亀山和子 |
| 人事 | ・教育委員会委員の任命 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 同意 |

平成26年第2回臨時会提出案件一覧表(選挙・選任等)

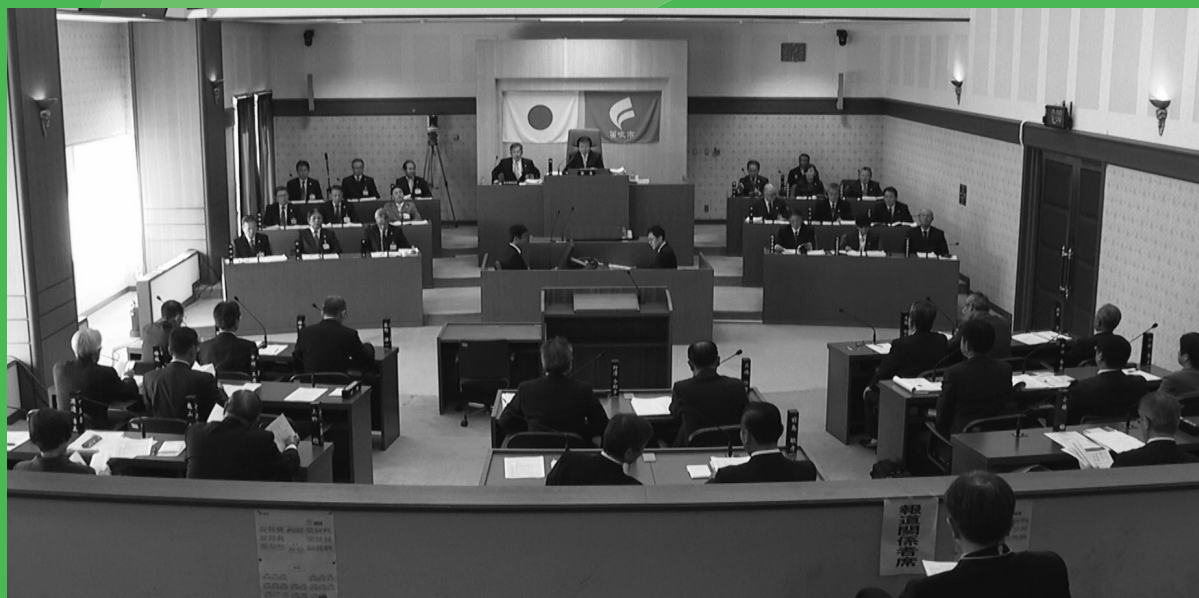
| 種別 | 案件名 | 結果 |
|------|---|------|
| 辞職許可 | ・議長の辞職 ・副議長の辞職 ・リニア対策特別委員会委員の辞職 | 許可 |
| 選挙 | ・議長の選挙 ・副議長の選挙 | 指名推薦 |
| 議席変更 | ・議席の一部変更 | 決定 |
| 選任 | ・議会常任委員会委員の選任 ・議会運営委員会委員の選任 ・議会広報編集委員会委員の選任 ・リニア対策特別委員会委員の選任 | 選任 |
| 選挙 | ・東八代広域行政事務組合議会議員の選挙 ・東山梨行政事務組合議会議員の選挙 ・東山梨環境衛生組合議会議員の選挙 ・峡東地域広域水道企業団議会議員の選挙 ・釈迦堂遺跡博物館組合議会議員の選挙 ・甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合議会議員の選挙 ・山梨県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙 | 指名推薦 |

12月
定例議会

市民の声

一般質問

12月定例議会では、10人の議員が一般質問に立ち、市の考えをたどしました。以下は質問と答弁を要約したものです。



一般質問

問 若者の地方定住化の推進は

答 雇用環境の充実に取り組む



渡辺清美議員
(公明党)

渡辺清美議員 都市部の若者らを過疎地の自治体が募集し、地域活動に活躍してもらう「地域おこし協力隊」制度が全国に広がっている。地域ブランドの開発、販売、空き店舗を活用した商店街活性化、耕作放棄地の再生など多岐に渡っている。

少子高齢化の進行、人口流出が深刻化する中、本市においても「地方創生」推進策の一環として取り組むべきではないか。

芦澤経営政策部長 本市においても、若者の定住化は重要課題。観光・農業など地場産業の強化により、定住の地として魅力あるまちを目指したい。地域の外からの視点で定住化促進と地域力向上の推進のため、来年度の地域おこし協力隊制度の導入を検討している。

問 放課後子ども総合プランの推進は

答 放課後子ども総合プランの推進は

渡辺議員 厚生労働省と文部科学省は7月31日、放課後児童クラブの拡充等を盛り込んだ総合プランを発表した。同プランでは、放課後児童クラブの定員を平成31年度末までに約30万人分増やすことを目標に、自治体の行動計画の策定・見直しを促している。本市の取り組みは。

答 子ども支援策に
反映させる

鶴田保健福祉部長 策定中の「笛吹市子ども・子育て支援事業計画」に反映させ、今年度中にパブリックコメントを実施する予定。放課後児童クラブの定員を275名増員して1,119名とし、市内26カ所に設ける方針。学校内で行われている放課後子ども教室の整備は放課後児童クラブの拡充を最優先しながら、教室の状況を把握する中で検討する。

問 住宅リフォーム助成制度の実施を

答 厳しい財政下、慎重に検討



亀山和子議員
(日本共産党)

慎重な検討が必要。

問 子どもの学びを支える 学校図書館の充実

亀山議員 学校図書館整備計画では、2016年度までの5カ年計画で、「図書標準の達成」、「新聞の配備」、「司書の配置」が地方財政措置に盛り込まれた。

市内小中学校の学校司書の配置状況は。正規、非正規の区分は。司書教諭の配置・業務実態は。1校あたりの図書購入費は。今年度の図書・新聞の状況は。

答 機能充実に努めている

堀内教育部長 芦川小学校以外の全校に配置。正規3人、臨時15人。12学級以上の12校に配置。資料の選択・収集、読書会の企画等、図書館運営の全般に寄与している。約百万円。

すべての学校で、蔵書数は標準に達し、新聞も配備し授業等に活用している。

問 アベノミクスで暮らし・景気は

答 業種により差がある



渡辺正秀議員
(日本共産党)

災害や疾病で納税が困難な場合、原則1年まで徴収が猶予される。随時、納税相談を受け付けている。

問 都市計画税は

渡辺議員 市民に理解されなくても28年度から徴収するのか。新しいごみ処理施設で費用は約半分になると思うが。負担と受益の相関性は。市民の担税能力は。必要性についての財政的な検討はしてあるか。

答 28年度から課税

芦澤経営政策部長 まちづくり推進には必要な財源。28年度から全域課税する。施設建設費用の起債償還に充てる。公平性の観点から、土地・家屋の資産価値に応じ課税される。生活実感は厳しいが、都市計画税抜きでは市政運営に支障をきたす。普通交付税縮減への対応上必要。

住宅リフォーム助成制度は多くの自治体で実施され、経済効果が大きいことが実証されている。基本法を生かし、本市でも導入を。
風間産業観光部長 商工会と連携し、県や他自治体を参考にして振興策の策定を検討する。
全数調査の計画はない。条例は県との役割分担等、状況を見て検討。耐震化を伴わないリフォームへの助成については、厳しい財政状況下、

問 後期基本計画、農業基盤整備は

答 新規就農と農地集約化を図る



神澤敏美議員 (笛新会)

神澤敏美議員 合併から10年が経過し、後期基本計画も残り3年となった。生産農家を支援する、農業基盤整備事業の推進状況は。

遊休農地と耕作放棄地活性化の進捗状況は。
風間産業観光部長 今年度、県営畑地帯総合整備事業として御坂、一宮、境川、笛吹川左岸地区の計5地区を市の負担率25%で、中山間地域総合整備事業として八代と御坂町黒駒東地区を負担率15%で、基幹農道整備事業として八代と一宮の2地区を負担率17%で整備している。市単独事業としては、農道改良、水路改修等を事業費3億1千万円で整備した。
県農地中間管理機構の委託を受け、7月から専任職員を配置、10ヶ所を目標に農地集約化に努めている。

問 命を守るAEDの普及拡充は

答 設置と啓発に努める



川村恵子議員 (公明党)

川村恵子議員 AEDの市内における設置状況は。実際の現場における市民の使用状況は。

市民向けの講習会・研修会は。AEDの貸し出し、課題は。
コンビニへの設置推進は。
堀内教育部長 市内37施設の内、30施設において指定管理者制度を導入している。25年度、市の直接管理概算額と比較して約2、100万円の経費縮減が計られている。指定管理者の自主事業として休館日に開館し、市民の利便性が向上した施設もある。
直営7施設の利用状況は、延べ1、675団体、25、608人。
良好な環境のもと、スポーツに親しめるよう、施設の維持管理に勤めていきたい。
風間消防長 公共施設62台、民間施設106台の設置を把握している。届出の義務はないので、他にも設置が進んでいると推測する。
本年4月から11月の間、救急車の到着前に5件使用された。以前は市民が使用を躊躇するケースも多かったが、普及・啓発で認知が進んでいる。
普通救命講習会を33回開催し、504人が受講。防災訓練、学校のプール開き等での救急法講習会を53回開催し、2、159人が参加した。延べ1111団体に545回貸し出している。設置場所のPRとあわせ、

問 代読・代筆支援の充実は

答 連携して対応



鶴田保健福祉部長 (笛吹市)

川村議員 近年、視覚障害者のみならず高齢者など、読み書きに支障がある人への支援の必要性が高まっている。読み書きサービスの現状は。専門的知識を持つ支援員の養成は。

引き続き普及、啓発に努める。
建築確認申請の機会等、積極的に働きかける。
鶴田保健福祉部長 笛吹市には280人の視覚障害者の方がいる。障害者総合支援法に基づく居宅介護サービス等の家事援助において、郵便物・回覧板等の代読、手紙等の代筆を行っている。社会福祉協議会に委託して、声の広報発行や点字による情報提供も実施している。
同行援護サービスの提供にあたっては、県が実施する研修の受講が義務付けられている。市では朗読奉仕員養成事業を、毎年実施している。

問 市内の図書館は

答 学習・交流拠点として推進する



志村直毅議員
(笛政クラブ)

志村直毅議員 図書館運営方針は、

レファレンスサービスの充実、臨時職員司書の待遇改善を、

指定管理者制度の導入検討は、

除菌や防カビ効果があるとされる照明器具CFLの導入は、

防犯対策の考え方は、

市立学校図書館間の連携効果は、

堀内教育部長 近年、利用者は減少している。貸出しや読書活動の支援はもとより、生涯学習の拠点、住民交流の場としてサービスに努める。

職員のスキルアップに努め、利用者の課題解決支援を引き続き行う。

正規職員8人、臨時16人、パート18人が勤務。臨時全員とパートの3人が

司書有資格者。臨時職員待遇は、市の要綱に基づき適正に対応している。

図書館業務は非営利。慎重に検討コストを調査し検討を考える。

防犯カメラの設置は、プライバシー等を考慮し、今後検討する。市内図書館と学校図書室の蔵書は一元管理され、昨年度の相互貸借は10万5千件。学童保育への定期貸出しも実施。

問 地方連携・地方創生の取り組みは

志村議員 「定住自立圏」や「地域連携協約」などの取り組みは、

「地域中枢拠点都市」甲府市との定期的な意見交換の体制は、

桃サミットに向けた広域連携は、

地方創生2法が成立。市の見解は、

答 国や県が策定する長期ビジョンなどを注視

芦澤経営政策部長 市町村合併で広域連携は実現。今後検討する。

合併前より、甲府圏域地方拠点都市整備推進協議会が継続している。

桃源春まつり等での事前告知、周辺4市連携の観光宣伝に努める。

将来人口推計の見直し、総合戦略の策定に取り組む。

問 農業ハウスの再建支援は

答 27年度中の完了を目指す



古屋始芳議員
(誠和会)

古屋始芳議員 2月の未曾有の大雪により、本市においては、ハウス農家の80%が被害を受けた。

復興、再建の現状は、

年度を越えての長期的援助が望まれる。今後の見通しと支援は、

風間産業観光部長 11月末でのハウス撤去希望は508件。事業費は

2億5、900万円。再建希望は443件、41億6千万円。撤去総数の87%が再建修繕の対象。年内に再建完了の見込みは10数件、2割、総面積42分の4・7%。

助成金の交付は延べ73人、135

施設に3、100万円。ほとんどは撤去関係。10月、補助金確保に必要な計画承認申請を終えた。

撤去関係の助成金交付は、年度末までに完了する予定。再建関係は資材と人材の不足で、やむを得ず翌年

度に交付繰越も想定される。しかし、現時点では、再来年以降の事業継続は困難との見解が国から示されている。市では県やJAと連携し、全案件を27年度中に完了できるように支援する。

問 (仮称) 笛吹八代スマートICの有効利用は

古屋議員 長年、地域の願いであった、中央道のスマートインターが完成する。

アクセス道路の整備は、

答 地域活性化に最大限活用

宮川建設部長 上り線側は県道藤袋石和線に接続、下り線側は県道笛吹八代線につながる計画。砂原橋および取り付け道路が整備され、新環状道路東側の東油川ランプに約1・5キロメートルでアクセス可能となる。

問 観光の現状と課題及び方策は

答 個人、外国人のニーズに注目



野澤今朝幸議員
(笛新会)

野澤今朝幸議員 「笛吹市観光振興アクションプラン」の中間評価は、観光の現状と課題、方策は。
 「リニアの見える丘整備構想」と「笛吹市観光振興アクションプラン」との整合性および費用対効果は。
 石和温泉駅の活用策は。アクションプラン見直しの必要性は。
 観光行政の課題と解決策は。
風間産業観光部長 34の施策事業すべてにおいて着手し目標事業着手率は達成した。数値目標の観光客入り込み数は下回った。
 石和温泉郷の宿泊者は、平成3年の180万人をピークに、25年度は約100万人と減少。笛吹市周辺の観光客数も、500万人から250万人に半減。景気低迷、団体旅行から個人・小グループへのシフトなど、変化に対応しきれていない。関係事

業者と認識の共有化を図り、トレイルランやワインツーリズムなど、個人ニーズに応える商品開発に取り組み。
 一方、富士山世界文化遺産登録、円安効果などにより、アジアから山梨への観光客は増加傾向にあり、80万人を超える勢い。来年度はインバウンド観光に重点を置き、ベトナムなど東南アジアへのトップセールスを行う予定。

多くの写真愛好家、鉄道マニアが存在を明らかにしてくれた新風景として観光資源化していくもので、アクションプランの「笛吹風景づくり」に整合している。直接的経済効果の測定は難しいが、主要マスコミに取り上げられるなど宣伝効果は大きい。じやらん誌の調査によれば、笛吹への観光客の電車利用は約20%。新しくする駅の中には観光案内所を設置する。アクションプランは、市場調査の結果等を踏まえ見直す。
 観光市場動向調査、勉強会で現状を把握、インバウンド観光や広域的連携などを推進していきたい。

問 一般住宅の耐震補強への対応は

答 市の促進計画で補助を実施



神宮司正人議員
(笛新会)

神宮司正人議員 耐震補強に関する取り組みは。
 一般住宅の状況把握は。
 耐震不適合の戸数把握は。
 市民からの要望への対応・援助は。

宮川建設部長 耐震改修促進法に基づき、21年3月、市の計画を策定、県の計画および本市の防災計画との整合性を図り、旧建築基準の建物への補助制度等の施策を推進している。25年度実績は耐震診断78件、改修補助7件、建替え補助20件。
 21年度推計戸数、約29、000戸。昭和56年以前の旧基準の建物は約13、000戸。

耐震診断が必須。「耐震口トラー作戦」と銘打った戸別訪問を23年度から実施して耐震への啓発に努めている。
 木造住宅の耐震診断は、県建築士協会に委託、無料実施している。耐

震改修のための設計費用は上限20万円、耐震改修は同80万円、建替えは同40万円補助している。

問 子どもの現状と支援策は

神宮司議員 日本の子どもの貧困は、先進国で最悪レベルといわれている。生活保護世帯、一人親世帯の子どもの家庭環境を把握しているのか。積極的な救済策を考えているのか。

答 定期的に調査を実施している

鶴田保健福祉部長 生活保護世帯は、12世帯18人。中学生以下の子どもがいる世帯は、9世帯14人。ケイスワーカーの定期的な訪問で、家庭環境を把握している。一人親家庭は、633世帯939人。8月の現況届け提出で把握している。教育委員会は毎年、一人親家庭の実態調査を実施。医療費助成、就学援助費補助金交付などを実施している。27年度、生活困窮者自立支援法施行に基づく、支援導入の可能性も検討していく。

問 空家対策特別措置法案に 基づく条例制定は

答 ガイドライン制定を待ち検討



中川秀哉議員
(公明党)

中川秀哉議員 総務省の土地統計調査によると、全国の空き家は、昭和38年が約52万戸、空き家率2・5%。平成25年が820万戸、空き家率13・5%。50年間に11・0ポイント増加している。

埼玉県所沢市が平成22年10月に「所沢市空き家等の適正管理に関する条例」を制定後、26年9月までに300を超える条例制定の自治体が加速した。この背景には本年11月に可決した「空き家対策特別措置法」によるため、来年6月施行に向け笛吹市としても、これら先進例を参考に、空家対策特別措置法に基づく条例制定を強く求める。市当局の見解を伺う。

芦澤経営政策部長 空家対策特別措置法は、防犯や景観面で問題となっている空き家への対策を図るため、

国による基本方針の策定を義務付け、市町村が計画を定めることができるとしている。現在、国がガイドラインの作成に着手している段階。

特別措置法では、市町村による空き家への立ち入り、所有者等の把握のための固定資産情報の利用、著しく危険となる恐れのある空き家や、衛生上有害となる恐れのある空き家への指導・勧告・命令を可能とする規定、さらには行政代執行による強制執行についても定められている。

今後、国の策定する指針、ガイドラインを精査し、個別的なケースの適用について勘案しながら、実際の運用に向けて、必要な条例制定等の検討を進めていく。

100条委員会は最終段階に

「工事入札に関する調査特別委員会」報告

一昨年（平成25年）11月25日の臨時会で、その設置が議決された「工事入札に関する調査特別委員会」は、1年以上にわたる調査をようやく終え、報告書作成という最終段階に入りました。長い時間を要したのは、通常の議会活動の間を縫って調査（具体的には委員会、準備会という形で）しなければならぬという「特別委員会」の置かれていた立場から、止むを得なかつたということ。それに加え、調査対象とした工事入札が22件に及び、さらに調査事項も公告の取り止め、再公告、入札不調、高落札率の落札、最低制限価格での落札と多岐にわたっていたこともありました。

また、地方自治法第100条による調査特別委員会というものに、委員長をはじめ委員が不慣れであったということも、調査を長引かせることになりました。

この間、委員会は15回、準備会は25回開催。委員会で証人喚問を求めた証人は市長、前副市長も含め、延べ14人に及びました。また、証人喚問とは別に職員への聞き取り調査も実施し、多面的に疑義の解明に当たってきました。特に時間をかけ綿密に行なった調査

対象は「御坂浄水場・配水場」にかかわるもので、入札公告の取り止め、公告内容の変更、入札不調などが頻発したという「異例の事態」の解明でした。この事業には「元市議会議員からの助言」や「市長への匿名文書」も絡んでおり、調査特別委員会の持つ権限ですべてクリアにするまでには至りませんでした。今回のような「異例な事態」の再発に対する防止策は提示できず、そこまでの調査はしつかり実行されました。

本調査特別委員会の目的は、倉嶋市長の就任後約1年間における工事入札に対して発せられた疑義を明らかにするとともに、今後において同様の疑義の再発を防止する方途を示すことです。それが十分に達せられたことを、調査報告書をもって示すことができると考えます。

調査報告書の作成は、委員会が原案を作り、委員会において十分協議し、まとめ上げる形で進め、その作業もまとめの段階に入っているため、近々議会への報告ができるものと思えます。（なお、その後の市民への公表については、議会の決めることとなります。）

総務 常任委員会

教育 厚生 常任委員会

12月12日、15日の2日間

12月12日、15日の2日間

委員会を開催。付託された条例の一部改正5件、一般会計補正予算1件、財産の処分1件の計7件を審査し、賛成全員3件、賛成多数1件、反対全員3件で、4件が原案の通り可決すべきものと決し、3件が否決すべきものと決した。主な質疑答弁は次の通り。

Q 他市や県の動向がつかめず、12月議会提出でも市民生活に影響がないため。
Q 市長、副市長、教育長、議員の期末手当の改定は、職員給与改定に連動してか。
A 他市動向を見ての判断。
Q 期末手当の改定は、議会の中で十分議論されたか。
A 十分と言えないが、議会事務局と調整を行い、理解いただけたと考える。

Q 都市計画税条例の一部改正は、28年度から課税か。
A 21年、24年と2度課税の猶予。28年度から課税する。
Q 下水道整備区域から外れる地域を十分説明し、議会にも説明することは。
A 議会の求める点も踏まえ、市民と議会の納得が得られるよう対処する。

Q 番号制度システム改修委託の減額はなぜか。
A 国の仕様がわからない中の予算で、減額が発生。
Q 火災発生時の情報発信の仕方は、消防本部の情報伝達も含め改善できるか。
A 情報機器の技術的側面を勉強し対応を検討したい。
Q ふるさと納税の特産物提供で、市のPRの拡大は。
A 特産物PRを目的にリニュアル。効率的運用で来訪者拡大を図りたい。

Q 八千蔵の土地利用の方向性を示す必要性は。
A 4市で公共施設の協議を重ね、具体的提案に向けて検討・努力していきたい。
Q 更生医療の件数と介護給付、訓練等給付のサービス利用人数は。
A 生活保護受給者医療費1件、介護給付・訓練給付サービス利用数は380人、児童通所支援は60人、児童は放課後デイサービスの利用。
Q 御坂福祉センターの指定管理料が大幅増だが。
A 賃借料収入は指定管理団体の収入だが、賃借料を市に納入し、その費用を指

総務部所管

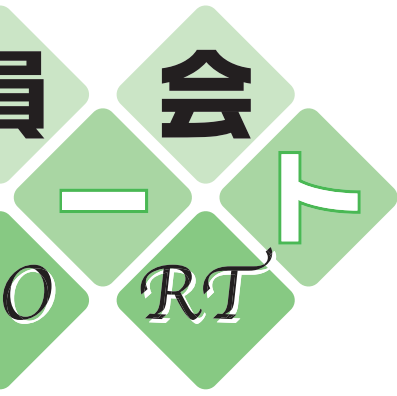
Q 職員給与条例の一部改正は、11月の第2回臨時会で提案すべきではないか。

Q 合併当初、都市計画税は専決処分で決定された。議論は十分だったか。

Q 起債財源の減額補正が大きい理由は。
A 年度内執行が難しいものは減額し、新年度予算の盛りなおしを検討した結果。

Q 市民環境部
Q 市負担の防犯灯設置基準が旧町村で異なる。不平等をなくす基準作りは。
A 早急に検討する。

Q 御坂福祉センターの指定管理料が大幅増だが。
A 賃借料収入は指定管理団体の収入だが、賃借料を市に納入し、その費用を指





や電話で受診をお願いしている。

教育委員会所管

Q 芦川小学校屋内運動場耐震改修の地中埋設物撤去費は何か。

A 電気配線パイプが残っており、その撤去費用。

Q 芦川グリーンロッジとやすらぎの家の活用状況は。

A 昨年度のグリーンロッジ利用者314人、やすらぎの家利用者50人、芦川スポーツ広場利用者1、170人、テニスコート利用者50人。

指定7件の計16件を審査し、賛成全員でいずれも原案の通り可決・認定すべきものと決した。主な質疑答弁は次の通り。

産業観光部所管

Q 芦川農産物直売所他1施設指定管理の登録会員状況と、他の直売所の連携は。

A 芦川農産物直売所運営委員会が運営。34人の正会員が1人10万円出資。千円の年会費の他、売り上げの15%が手数料。それ以外に93人準会員があり、年会費2千円と20%の手数料を納めている。4直売所の連携は年1〜2回、直売所の連絡会議を開き情報交換。共通パンフレットを作成し、直売所巡りと商品も融通し合う。

Q 淡水魚養殖施設復旧支援対策事業費補助金とは。

A 2月の雪害時、鯉の養殖施設に対する国の補助がなく、再建費を県と市が3分の1ずつ補助。石和町1件春日居町1件の申請。補助率が劣るが、国の補助がない中での事業である。

建設部所管

Q 市営住宅の入居状況は。

A 公営住宅は入居待ちの状態。八代の定住促進住宅は、購入当時から60戸のうち20戸近くが空きの状況。原因はエレベーターがなく4・5階の入居希望が少ない。家賃減額や入居条件緩和を検討したい。

Q 土木課事業の明許繰越の理由は。

A 用地買収の地権者相続問題や、河川関係工事は湯水期に限られる。橋梁長寿命化事業は、関係機関と工事発注の手法について協議

が遅れたことなどが理由。「意見」

繰越事業は用地交渉も大変だが、綿密な計画で円滑な工事執行を図りたい。

Q 下水道維持管理事業の内容と耐震化の状況は。

A 一般的な維持管理は、家庭設置公共ますの蓋の交換、道路設置マンホールの鉄蓋の交換や、路面との段差部分の補修、管路の詰まりによる緊急の管路清掃など。耐震化対策は道路のマンホール浮上防止、下水道管路との継手の耐震化工事。



石和温泉駅舎建替工事・北口広場整備工事現場視察



12月12日、15日の2日間委員会を開催。付託された条例の一部改正1件、一般会計補正予算1件、特別会計補正予算2件、水道事業会計補正予算1件、給湯事業会計補正予算1件、市道廃止・認定2件、字の区域の変更1件、指定管理者の

12月12日、15日の2日間委員会を開催。付託された条例の一部改正1件、一般会計補正予算1件、特別会計補正予算2件、水道事業会計補正予算1件、給湯事業会計補正予算1件、市道廃止・認定2件、字の区域の変更1件、指定管理者の

12月12日、15日の2日間委員会を開催。付託された条例の一部改正1件、一般会計補正予算1件、特別会計補正予算2件、水道事業会計補正予算1件、給湯事業会計補正予算1件、市道廃止・認定2件、字の区域の変更1件、指定管理者の

12月12日、15日の2日間委員会を開催。付託された条例の一部改正1件、一般会計補正予算1件、特別会計補正予算2件、水道事業会計補正予算1件、給湯事業会計補正予算1件、市道廃止・認定2件、字の区域の変更1件、指定管理者の

12月12日、15日の2日間委員会を開催。付託された条例の一部改正1件、一般会計補正予算1件、特別会計補正予算2件、水道事業会計補正予算1件、給湯事業会計補正予算1件、市道廃止・認定2件、字の区域の変更1件、指定管理者の

12月12日、15日の2日間委員会を開催。付託された条例の一部改正1件、一般会計補正予算1件、特別会計補正予算2件、水道事業会計補正予算1件、給湯事業会計補正予算1件、市道廃止・認定2件、字の区域の変更1件、指定管理者の

12月12日、15日の2日間委員会を開催。付託された条例の一部改正1件、一般会計補正予算1件、特別会計補正予算2件、水道事業会計補正予算1件、給湯事業会計補正予算1件、市道廃止・認定2件、字の区域の変更1件、指定管理者の

12月12日、15日の2日間委員会を開催。付託された条例の一部改正1件、一般会計補正予算1件、特別会計補正予算2件、水道事業会計補正予算1件、給湯事業会計補正予算1件、市道廃止・認定2件、字の区域の変更1件、指定管理者の



し大境当度制一制切どのバ相よかが母育職悩いつの陥し無3や族
て人とにを度子度今さも存イ談うら甘さ短士しんつて半つ少と料年娘人や子
いがは幸整がど年をと在スにで受えん時へただ遊も分てし感を経が々自育
か子何せえ作ものの改ちをは乗かけては間の。未ん家近い前じ含つ3の治て
なかでるら施春めやとくつな止く忙勤大事だ事くるてむた歳協体は
けも健だれの行にてんでだてりめるし務転務昨つにをこ病い医今の力決
れのどやけてはがは痛ともさく状るよいに身職年け追離と気る療もとに保し
ば立うかです予感向心つれ態とうかなでか15?われがとと制通き支育て
な場やになるな定子しき強たがにらつもら年れてわはこ度院え園1
らにつ育く感のさどた合か市保改気なたあ長近そ過か別るのはあらな人
なたたつじにれもいつの育善持つと途つくんごつにだ有するれどで
いつらこ子がて接た心園さちた遠端た間勤なあした娘りい病てさ
とて作とど否大い育す理のれが慮にたが?仕思情難て気いま
感考れがもめ人のて同士先た満欲し今にたが?仕思情難て気いま
じえるでたなのて時時さ生た求てま描職多今事え緒みおがるざ
てのきちい立主支間にんや親さをいでい場か日かば不ひ覚ない
い実かるが場役援のたア身れ正たたをつ娘ら1安し窓し機
る践環本制では新大子ちどにる面娘お保退たと帰日にひ口た関家



子どもと向き合う

石和町四日市場(保育士)
前島幸枝

3月定例議会を傍聴してみませんか！

議会運営内容が確定後、市ホームページ上で会期日程・質問内容(表題)を公開しております。参考にご覧ください。

平成27年 第1回定例会本会議の日程(予定)

- 2月25日(水) 午後1時30分～ 本会議(初日)市長施政方針・議案説明・質疑・付託
- 27日(金) 午前10時～ 代表質問
- 3月2日(月)・3日(火) 午前10時～ 一般質問
- 10日(火) 午後2時30分～ 本会議・委員会審査報告・質疑・討論・採決
- 20日(金) 午後2時30分～ 本会議(最終日)委員会審査報告・質疑・討論・採決

日程等に変更がある場合もあります。傍聴へはお気軽にお越しください。
傍聴席へは先着順となります。(傍聴人定員42名)

NNS・甲府CATV(10チャンネル)で、市議会の録画中継が見られます。
放送日時は決まり次第、市ホームページ等でお知らせします。

議会広報編集委員会
委員長 荻野 謙一

議会広報編集委員会の委員メンバーもかわりました。今後2年間新しい編集委員会で進めてまいります。議会だよりも市民に分かやすく、市民の皆さまに愛読していただけるよう編集活動に取り組んでまいります。議会だよりを楽しみにして下さいます。



表紙説明

題字は 大久保俊雄議長

第18回 笛吹市小学生・中学生俳句会

平成26年12月21日(日)に境川総合会館で行なわれました。

全国から31,138句の投句があり、その中から50句が表彰されました。写真は表彰式の様子。

ITOYO INTERFACE



笛吹市議会だより No.41
〒406-8555 山梨県笛吹市八代町南917
TEL.055-265-2112(直通) FAX.055-265-1101
URL: http://www.city.fuefuki.yamanashi.jp/

発行者: 笛吹市議会議長 大久保俊雄 / 編集: 笛吹市議会広報編集委員会
委員長: 荻野 謙一 副委員長: 古屋 始芳
委員: 岩沢 正敏 志村 直毅 渡辺 清美 北嶋 恒男